

令和7年度 第5回細谷小学校学校運営協議会

全体進行：教頭

記録：教頭

1 日程の確認

- 10：30～12：00 協議会（家庭科室）
12：05～12：45 給食試食（ランチルーム等）

2 開会

3 あいさつ

（1）会長挨拶 川中子 源 PTA会長

・今年度最後の学校運営協議会です。恒例の給食試食もあり、楽しみにしてきました。どうぞよろしくお願ひします。

（2）校長挨拶 松川 博美 校長

・第5回の学校運営協議会で、市内の学校では、一番多く学校運営協議会を開催している。
・他の市町にある小規模特認校は複式学級になっている学校が多いが、細谷小は昨年度から25年ぶりに解消されている。今の状況だと来年度も解消された状況である。これは小規模特認校というのを選択して来てくださっている方々が多くいらっしゃるということである。選んでいただける方に話を聞くと、細谷小学校の体験活動に興味があるという方が大変多い。

・体験活動は、地域の皆様や保護者の皆様に支えていただけて進めることができている活動なので、本当に皆様のお力によって、ここまでやってくることができたと思つて感じた。

・今日は、今年度一年間の教育活動について、皆様からいろいろとご意見を伺いながら、また来年度のより良い活動につなげていきたいと思つる。いろいろとご意見いただければありがたい。

4 協議

【進行：会長】

（1）令和7年度教育活動に関するアンケート（学校評価）結果について（教頭）

●自己肯定感・自尊感情

- ・肯定的回答が昨年度より増加。
- ・背景

① 体験的・多様な活動の機会が多い。

② 縦割り交流の日常化により、上級生の役割発揮・下級生からの承認が増えた。

・課題

「困り事の相談しやすさ」「教職員の誠実対応」の“とてもよい”割合が低下。
教職員からの個別アプローチ・声かけの強化が必要。

●学びの意欲・授業改善

- ・学力向上アドバイザーの週1回の指導により授業の分かりやすさ・児童の学習への意欲が向上。

・家庭学習

学校・保護者間で認識の差が継続。宿題の目的・やり方の共有不足が要因。
読書習慣の家庭での定着方法は今後の課題。

●心の育成・生活規範

- ・いじめ予防意識（加害しない・見逃さない）が向上。早期発見・対応を継続。
- ・生活ルール（廊下を走らない、トイレのスリッパ整頓等）の徹底が不十分。
教職員間の情報共有と指導の統一を強化。

●健康・運動

- ・体育や休み時間の自主的運動の伸びが限定的。保護者評価も低下。
- ・要因
 - 高温多湿による外遊び制限。
 - 体育の課題難度が高く、達成感不足で意欲が下がる局面。
- ・対応
 - 跳び箱・縄跳び・鉄棒等で成功体験を増やし、達成感の積み上げを図る。
 - 来年度は体育館の空調が整備され、環境制約を補完。

質問等

自己肯定感の否定的回答

Q：否定的回答があるが、個人は特定できるのか。自分に良いところがないと答えていても、係や委員会の仕事はしっかりとやっているの、ほめる要素はあるはず。

A：否定的回答が続く特定児童は記名式データで把握済み。学級・学校全体で年間を通じた支援を継続している。

体力の低下

Q：夏場は暑いので外遊びは難しいが、「汗をかく」ことも大切だと思うが、どう対処しているか。

A：決して外遊びや運動が嫌いな児童が多いわけではない。暑さがひどくなる前、なるべく外遊びをして暑さに負けない体づくりは意識している。

相談のしやすさ

Q：相談ポストは、どのように活用されているのか。ポストに相談カードを入れた後はどうなるか、子どもたちは分かっているのか。

A：利用は低調。相談をするので匿名は不可。事後のプロセスの不透明が心理的障壁になっているのは事実。

対応方針

投稿後の流れ、本人と相談しながら進めること、相手当事者への伝達の扱い等を明文化し周知。

利用のしやすさと安全性の両立を図る。

承認の見える化

Q：以前はよく、よさを認め合う活動をし、そのカードを持ち帰ってきた。家庭でも、ほめる機会となるので、やるといいのでは。

A：話し言葉での称賛は消えてしまうため、カード化・掲示等で見える化することは大切。持ち帰り可能な形にする工夫を推進。保護者が子の良さを認識・声かけしやすくなる効果を期待。

(2) 「学校評価に基づく改善策」に関する協議 (教頭)

協議内容

◎体験活動での外部講師への学びが「楽しい」との回答が少しだけ減っている。さらに活動の質を高めるとともに、地域の方によりよく支援していただくために学校としてどのようなことをしていけばよいか。

●具体的連携の形づくり

- 学校からの「困りごと」を具体化して発信（例：登下校見守り、校庭の草刈り、剪定、通学路の危険箇所対応等）。
- 自治会長を中心として地区内の横の連携で人員調整。ピンポイントの場所指定・日時・範囲の明確化が有効。
- 自由参加（フリー）草むしりの利点もあるが、防犯・保険・学校側の把握のため、最低限の来校申告・簡易な記録運用の仕組みが必要。

学校はボランティア人数を保険会社へ月次報告。協働本部側でも多数のボランティア保険加入準備。

来校者への適切な挨拶・感謝の可視化で参画の心理的障壁を下げる。

- 地域学校協働本部では
 - 国分寺地区の状況
地域の技能者（工務店・電気・ガラス・改修業者等）や個人・団体の登録を協働本部で進行中（約 30 件登録見込み、返事待ちあり）。
 - 「どの支援に、どの人材が適任か」を学校・地域で見える化。依頼ルート（学校→コーディネーター→自治会等）を標準化。
 - 新規に作り出すというより、既存支援の継続・連絡体制の強化を重視。
- ノウハウ共有
 - 国分寺地区の先行事例について、集め方・手順・課題と対策の「手順書（ハウツー）」を整備し共有予定。
 - 周知不足を解消するため、協議会や自治会などを通じて情報発信を拡充する。

(3) 令和 8 年度学校行事、学校運営協議会について （教頭）

学校行事の公開

- 運動会・スマイルフェスタを「オープンスクール」的に広く公開し、来訪者向けの参加イベントも検討。
- スマイルフェスタは発表主体の場として、協議会は参観扱いの自由参加。

学校運営協議会

- 年 5 回から年 4 回へ削減（12 月は開催なし）。

5 事務連絡

(1) 令和 8 年度学校運営協議会委員の継続、推薦について

- ・上台、細谷地区は自治会長の交代に伴い、次年度の協議会委員は変更となる。
- ・他は、継続。（1 名肩書きの変更あり 民生委員から学校支援ボランティア代表に）

(2) その他

- ・卒業式について 令和 8 年 3 月 1 8 日(水)午前 9 時 3 0 分開式
- ・入学式について 令和 8 年 4 月 1 0 日(金)午前 9 時 3 0 分開式

校長あいさつ

地域・保護者の協力に感謝している。

「**地元**の子どもたちが細谷小を選びたいと思える学校に」なるよう、地元への発信も続けていきたい。

来年度の新入生は 2 名だが、ていねいに育てて学校の良さを伝えていく。

6 給食試食

7 閉 会